

エクセルエイド少額短期保険

「歯周病・糖尿病セミナーIN東京」開催

糖尿病と歯周病の関係を解説

エクセルエイド少額短期保険は7月21日、東京都中央区の銀座M&Sビルで「歯周病・糖尿病セミナーIN東京」を開催した。第一部では、川口市歯科医師会理事であり桃林堂歯科医院の渡辺幸男院長が「糖尿病と歯周病」その裏に見えるものは」をテーマに、多くの歯科臨床試験に基づいて分かりやすく解説した。第二部では、同社が糖尿病と歯周病の早期発見や早期治療に寄与することを目的に提供している「歯周病保障付糖尿病有病者向け医療保険（ペリオ DM80）」「歯周病保障付普通医療保険（ペリオ DC80）」の特徴などについて説明した。



渡辺氏

渡辺氏は、糖尿病と歯周病は相互に関連しているとし、「歯周病が改善すると血糖値が安定し、血糖値が安定すると歯肉からの出血が減る」と指摘。歯周病の治療に関しては、基本治療として口腔清掃指導（ブラッシング）、フッ素塗布や根面の歯石を除去するスケーリング、暫間固定などを挙げ、暫間固定による歯周組織の創傷治癒の遅延②糖尿病による易感染症③唾液（だえき）分泌量の減少による口腔内の自浄作用

の低下④脱水症状により口腔乾燥で歯肉が炎症を起しやすくなるなどを説明。「唾液は歯や口の粘膜を保護するほか、ばい菌を弱らせる、酸の力を弱めるなど非常に重要な働きをしている。唾液はかむことで多く分泌されるため、かむことも大切

だ」とし、「歯周病は糖尿病だけでなく、心臓血管疾患などの病気にも関係するなど、人間の全身に大きく影響するため、予防と適切な治療が必要だ」と強調した。

第二部では、エクセルエイド少額短期保険が「ペリオ DM80」「ペリオ DC80」について解説。「ペリオ DM80」は、糖尿病（合併症含む）と歯周病でも加入でき、契約日以降に発症、発生したほかの病気やけがも保障するもので、特徴として、糖尿病のタイプを問わず、1型糖尿病に限り告知に緩和措置があることや、支払対象の入院中に糖尿病い対象の入院中に糖尿病・合併症が併発した場合に併発時から新たな入院とみなし、1入院60日限度を適用することなどを説明した。一方、「ペリオ DC80」は持病のない人が加入でき、契約日以後に発症、発生した病気やけがを保障する。特徴として、契約日前発症の歯周病の部位は2年経過後、ほかの歯周病の部位は契約日以後の発症を保障する。これらの説明に加え、高血糖や糖尿病でリスクが高くなる病気の一つに歯周病がある一方、歯周病は糖尿病を悪化させる要因の一つとなっていることから、「糖尿病と歯周病の予防ならびに悪化予防に役立つ『おくちとからだの保険』を開発した」と強調。「歯周病と糖尿病の予防啓発に努めるほか、患者の経済的負担の軽減に向けて普及に力を入れていく」との考えを示した。